

会員
だより



注意！工事現場の希少動植物たち

会員の皆様、新年おめでとうございます。今年も良い年であります様に！

今回は、工事と環境問題について述べてみたいと思います。昨年 8 月に「H27 南部東道路改良工事（4 工区-1）」を受注しました。この地域には希少動植物が生息しています。植物では「オキナワヤマコウバン、ハリツルマサキ、クスノハカエデ」

（いずれも環境省の絶滅危惧種）、動物では、「クロイワトカゲモドキ、イボイモリ、ムラサキオカヤドカリ」

（いずれも環境省の絶滅危惧種）等が生息しており、なかには天然記念物もあります。これらはほんの一部で、まだまだたくさんの絶滅危惧種がいることを、工事



オキナワヤマコウバン

株式会社 小波津組
代表取締役社長 小波津 英正



ハリツルマサキ



クロイワトカゲモドキ



ムラサキオカヤドカリ

を受注して初めて知りました。当社職員、全作業員で「希少動植物」について勉強会を重ね、保護対策、発見した時の処置を学びました。できる限りの保護対策を行い工事による希少動植物への影響を最小限にとどめたいと思っています。

【取締役土木部長 稲 博和】

会員
だより



さかなの町の「道の駅いとまん」！

平成 24 年 3 月に開通した糸満道路・豊見城道路（国道 331 号）は那覇～糸満に向かう道路としての利便性が良く、開通当初から利用者が多い道路となっています。

その区間の一画に沖縄本島最南端の「道の駅いとまん」があります。「道の駅」といえば観光客や車の休憩で立ち寄る方も多いと思いますが、「道の駅いとまん」は糸満市物産センター（お土産・軽食）・お魚センター（糸満漁港がすぐ近くで新鮮）・ファーマーズマーケットいとまん（野菜市場で市内農家で作っている）が立ち並ん



糸満市物産センター「遊食来」



うまんちゅ市場

株式会社 呉屋組
代表取締役社長 呉屋 明



お魚センター



「道の駅いとまん」情報館

でいます。週末には多くの買い物客でにぎわい、渋滞が起きるほど人気で、糸満市民の台所となっています。糸満ではめずらしく、観光客と糸満市民が集う「道の駅いとまん」へ、糸満市にいらした際は足休めにとついででしょうか。

【取締役部長 呉屋 仁】



お魚センターの鮮魚
買物客で賑わう市場

活動報告・
トピックス



①年末の安全パトロールを南北国道事務所と合同で実施！

（一社）日本道路建設業協会沖縄支部では、昨年、平成 26 年 12 月 4 日（金）支部会員の安全意識の高揚を図り、工事に係る「無事故・無災害」を遂行して建設業に対する社会的要請に応える事を目的に、安全パトロールを実施しました。

発注者である北部・南部両国道事務所も参加して、合同安全パトロールとして実施しました。こうした取り組みを通じて、工事関係者のより一層の安全意識の高揚と事故防止に向けた対策を推進して行きたいと考えているところです。

パトロールは國場安全委員長を点検実施者として、安全委員 4 名点検補助者 1 名の計 6 名で実施しました。

実施箇所は南部国道事務所管轄が平成 27 年度西崎地区舗装工事（施工：（株）第一三興建設）、北部国道事務所管轄が平成 26 年度宜野座 2 工区交差点改良工事（施工：琉球開発（株））、平成 27 年度東港仮設歩道橋工事（施工：（株）丸石建設）、平成 27 年度恩納南 BP1 工区改良（その II）工事（施工：（株）丸政工務店）の計 4 箇所の現場で点検パトロールを行いました。

現場では、南部国道事務所宮国監督官、石川国道出張所仲里所長と安室技術係長が立ち会う中、各現場の監理技術者及び現場代理人の概要説明の後、現場視察を行いました。

各現場での安全管理実施点検は、整理整頓、第三者対策、交通安全対策、車輛系建設機械の安全管理状況、その他保護具の使用状況は、おおむね良好で各現場の安全管理意識の高さがうかがえました。



パトロール実施後の現場講評

しかし、細部においては改善の余地があると思われる箇所もあり、直接指導助言し、改善するよう指示がありました。今年は労働災害が増加傾向にあり、今後も安全パトロールを継続して実施し、各工事現場が「無事故・無災害」で竣工することを祈念するとの総評で報告を締めました。



宜野座交差点改良工事



南恩納BP改良工事



今月の予定

①平成 28 年新春講演会及び道路建設懇談会
1 月 12 日(火) 17:30 ~ 20:00
ザ・ナハテラス 3F アダンの間

②第 113 回道路美化・清掃活動〔後半グループ〕
1 月 19 日(火) 10:00 ~ 11:00



②第112回 道路美化・清掃活動

雨天で活動中止！

第 112 回道路美化清掃活動を、12 月 15 日（火）に行う予定でしたが、前夜からの雨が降り止まず中止になりました。



**2016年（平成28年）の
干支～丙・申の豆知識**

〈申という字の成り立ち〉

「申」という字は稲妻の形で、左右に光が屈折している形を縦線の横に並べて「申」という形になったといわれています。この稲妻は天の神の威光を表した形で、神の発するものであるという考えから「かみ」の意味となり、「申」が「神」のものと字になりました。また、背骨と肋骨の形から成り、背中のまっすぐ伸びた形を表しているという説もあります。

※参考『常用字解』（著／白川静、平凡社）

〈申のことわざ〉

・犬猿の仲／犬と猿非常に仲が悪いことのとえ。

・猿に絵馬
猿が馬の守護神とされていたことから、取り合わせのよいもののとえ。

・猿知恵
気が利いているようでも、実は浅はかな知恵のこと。まぬけな知恵。

・猿も木から落ちる
木登りの得意な猿でも、時には落ちることがある。その道に優れた人でも、時には失敗することがあるというたとえ。

・猿の尻笑い
自分のことを棚に上げ他人を嘲笑うこと。猿は自分の尻が赤いのがわからず、他の猿の尻を笑うということから。

・見ざる聞かざる言わざる
都合の悪いことや余計なことは、見ない、聞かない、言わないほうが良いということ。

・意馬心猿（いばしんえん）
走り回る馬や騒ぎ立てる猿のように、煩惱や欲望が激しく、心の乱れを抑えられないことのとえ。

・猿猴（えんこう）が月を取る
猿が井戸に映った月を取ろうとして水におぼれたという故事から、身の程知らずの望みを持ったばかりに、失敗することのとえ。



冬になると湯に浸かる猿たち
地獄谷野猿公苑（長野県）